



第77回 砂川市 はたちの集い

輝～晴々しい門出

1月12日に地域交流センターゆうで開催されたはたちの集い。対象者142人のうち100人が参加し、新たな門出を祝いました。

始まる前から、会場には振り袖やかま、スーツを身にまとった二十歳を迎えた若者が集まり、久しぶりに再会した友人と思い出話に花を咲かせたり、記念撮影をする参加者たち。

式典では、参加者を代表して岩崎結哉いわさきゆうやさんが、今まで支えてくれた人々への感謝の気持ちを伝え、「青春の多くをコロナ禍で過ごし、それ乗り越えてきた私たちだからこそ、周囲を明るく照らし、未来へと導いていくことができると思います。二十歳としての自覚と責任を持ち、明るい未来を作り上げていきます。」と誓いの言葉を述べました。そのほか、恩師からのビデオメッセージの披露や抽選会なども行われ、会場は大いに盛り上がりました。

二十歳という新しいスタート地点に立ち、この先に広がる可能性に胸を輝かせ、未来への第一歩を踏み出しました。





やっとはたち まだはたち まだまだ輝く

